

オンカロのトラウマ

という文章があります。

(一部はこちら)

書いたのは 松浦祥次郎氏
2013年11月28日付の文章です。
この人の今の肩書きは

独立行政法人 日本原子力研究開発機構 理事長
一般社団法人 原子力安全推進協会 代表

小泉さんの脱原発発言に対する反論だと思います。
原子力を推進する側の論理の一つでもあるのでしょう。
これを読みながら

なぜ原発はダメなのか？

を改めて考えてしまいました。
って、私なりに考えた理由は。。

各工程で被ばく労働者が生まれる

ウラン採掘から廃棄物処理まで常に被ばく労働者を必要とします。

各工程で環境破壊が発生する

ウラン鉱山・製錬工場では信じられないような環境破壊が進んでいます。

(参考：映画「イエロー・ケーキ クリーンなエネルギーという嘘」)

大量殺戮兵器への流用が可能

あえて核兵器を作らなくたって、
原発で日々生み出される廃棄物をバラまくだけで大量殺戮兵器です。

最終的な廃棄物処分方法がない

埋めて100,000年間無事である事をひたすら祈るしかありません。
そもそも日本には埋める場所也没有ありません。

(参考：映画「100000年後の安全」)

事故が起きた時の被害は全地球規模

福島原発事故で痛いほど分かったはず。
人間のやることに100%はありえません。
ちなみに冒頭の松浦氏を含めた16人の原発推進をしてきた人たちですら
事故直後にはこんな文書を発表していたんです。

福島原発事故は極めて深刻な状況にある。更なる大量の放射能放出があれば避難地域にとどまらず、さらに広範な地域での生活が困難になることも予測され、一東京電力だけの事故でなく、既に国家的な事件というべき事態に直面している。

2011年3月30日「福島原発事故についての緊急建言」の一部

●Peace Philosophy Centre

http://peacephilosophy.blogspot.jp/2011/04/blog-post_12.html

オリジナルではありませんが、全文を引用してありました。

●原子力規制委員会

http://www.nsr.go.jp/nra/gaiyou/data/profile01_teigen.pdf

恐らくオリジナル。メニューからのたどり方は不明ですが、「サイト内検索」をするとこのPDFファイルが見つかります。

http://www.genanshin.jp/report/column/wave_20131128.html

以下は一部の抜き出しです。全文は上記URLで読む事ができます。

小泉元首相が「原発はダメだ」という姿をテレビで見た、という話の後

何よりも困惑するのは、オンカロの処分場を見て、使用済燃料の処分はそのような方法しかない、あたかもトラウマにとりつかれた様にさえ見えることである。

島国で、大人口を擁し、生活レベルが高く、高度の産業を営む我が国では、超長期の視点で選択できる基幹的エネルギーの選択はかなり限られたものになる。

基幹的エネルギーの選択肢として

- ・化石燃料は資源量の限界と地球温暖化リスクがある
- ・太陽光、風力は不安定で基幹エネルギーとして信頼できない

と書いてから、

だとすれば、福島原発事故を心に強く銘記しつつ、安全を向上させながら原子力を継続的に利用する選択をせざるを得ない。我々の先人がこのような選択をしたのは基本的に間違っていなかったと考えるが、具体的手段は科学技術の進歩に応じて向上させていかなくてはならない。

最大の問題は使用済核燃料と高レベル放射性廃棄物の処分問題であるとして日本における以下のような技術の話が続きます。

- ・日本では深地層処分を目指している
- ・長半減期放射性物質を半減期の核種に転換する技術の研究も進めるべき（かなり昔から基礎的な研究が進んでいる）

そして最後の結論は

オンカロのトラウマに囚われ慌てて原発廃止の愚を選ばず、落ちついて確実な研究開発で新しい道を開拓したいものである。

読んでいてため息。。。これ、ほぼ同じロジックで逆の事が言えます。

「放射性廃棄物の処分方法」も

「基幹エネルギーとして利用できる新エネルギー」も

”今はない”、という点で同じです。とすればどちらを選ぶのかの決断だけ。

前半で考えた通り、原発の問題は廃棄物だけではありません。

事故が起きてしまえば取り返しがつかない被害が発生します。

リスクを考えたとき、どちらの技術開発を選択すべきか？

私には答えが一つしか見えません。

さて、前半でも紹介した「福島原発事故についての緊急建言」ですが、その冒頭は

はじめに、原子力の平和利用を先頭だって進めて来た者として、今回の事故を極めて遺憾に思うと同時に国民に深く陳謝いたします。

という文章から始まります。

たった2年半で原発というトラウマに囚われて原発存続の愚を選ぶとは。。